

---

# 児童虐待担当必殺仕事人

山中幸盛

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

児童虐待担当必殺仕事人

### 【Nコード】

N6853U

### 【作者名】

山中幸盛

### 【あらすじ】

子どもを虐待した親は、その因果の報いを受けねばならぬ。\*（お断り）このショートショートは、山中幸盛のブログ「妻は宇宙人」に掲載されているものと同じのものです。

本年七月二八日の午後、ラジオから次のようなニュースが流れてきた。

児童虐待の増加に伴って、昨年度、虐待を受けて死亡した子どもは六四件で六七人に上り、前の年度より六人多くなりました。

厚生労働省の専門委員会が詳しく調べたところ、このうち、〇歳の子どもは三九人で、全体のおよそ五八%を占めています。中でも、生まれたその日に死亡した子どもは一六人に上っていました。一歳から六歳までは三三%に当たる二人、七歳から一二歳までが六%に当たる四人、一三歳以上が一人などとなっています。また、母親から虐待を受けた子どもが全体の半数以上の三六人と最も多く、次いで父親からの虐待が十人などとなっています。虐待の形態では、暴力を振るわれるなど身体的虐待を受けていた子どもが最も多い四人で、親が育児を放棄するネグレクトだったのが二人でした。

「おい、また子どもが虐待で殺されたぞ」

「今度はどんな案件だ？」

「二二歳の男が、内縁の妻の一歳九カ月になる連れ子が泣き止まないことに腹を立て、前頭部を数回殴打して硬膜下出血で死に至らしめた」

「場所はどこだ？」

「愛知県の蟹江町だ」

「だったらオレが引き受けよう。三重県に行くついでがあるから、一仕事してくる」

「母親が二歳の自分の子どもに食事を与えずに衰弱死させた案件だな。しかし、衰弱死は時間がかかるぞ」

「ああ、長期出張になる。だが愛知県の案件は男をぶん殴れば事足

りるから、二日もあれば決着するだろう」

「若い成人男子の脳味噌はしぶといぞ」

「だから二日間みてるんだよ」

仕事人は空を飛んで三重県まで出向き、拘置所に入っている母親に差し出される三度の食事を横取りして食べた。人間の目に仕事人は見えないから、母親は目をまん丸に見開いて口をポカンと開けている。なにせ、給食を載せたトレイが空中に浮き上がり、天井の近くでしばらく静止して、降りてきたときには食べ物がきれいさっぱり消えているのだ。

母親は必死になって刑務官にそのことを訴えたが刑務官は冷笑するだけで取り合わなかった。日を置かずして精神的におかしくなったので医療施設に移されたが、仕事人はそこでも母親に出される病人食を容赦なく食べ続けた。母親がどんどん衰弱していくため点滴が施されると、仕事人は看護師の目を盗んで点滴をタオルにしみ込ませて捨てた。医師も原因を突き止めようと努力したが、仕事人に悉く邪魔をされ、やがて母親は二十日後に衰弱して絶命した。

次に仕事人は幼児の前頭部を殴打して殺害した男のいる愛知県の拘置所に向かった。その日に取り調べがあつたので、男が独居室に戻される際に仕事人も難なく一緒に中に入ることができた。そして夕食が差し出されたとき、ここでも仕事人はトレイごと奪って空中に浮かんで食べ始めた。男は目をみはり、大声で刑務官を呼んだ。

「おい、誰か来てくれーっ！」

それで仕事人はトレイを持ってしている手を放した。トレイが男の頭に命中し弾んで食器と食べ物が床に散乱した。そして男の後頭部をグローブのような右手でつかみ、男の前頭部を軽めに床にたたきつけた。ゴツツという鈍い音がした。男は何が何だかわからず、ふくらむたんこぶをなでながら目を白黒させている。仕事人は男の耳元でささやいた。

「高橋瑛太ちゃんを殺しただろ」

「ヒッ」

男は声にならない声を発し、脅えながらキョロキョロと室内を見回すが誰もいない。

「因果応報の報いをこれからお前に強制執行する。瑛太ちゃんと同じ目に遭わせてやるから声を出して泣け」

「助けてくれー！」

男は叫ぶ。仕事人が今度はやや強めに男の前頭部を床にたたきつけると、男はあっけなく気を失ってしまった。

しばらくすると刑務官が給食トレイを引き取りに来て、様子がおかしいので大騒ぎになった。男は意識を取り戻して訳の分からない話を繰り返す。とうとう医務官がやって来て、精神安定剤の入った注射を打って帰ろうとすると、男は必死の形相で追いつがって泣き叫ぶ。

「オレは殺される、ここから出してくれー」

「ばかいえ、ここほど安全な場所はないんだぞ。話は明日ゆっくり聞いてやるから、今日はもう寝なさい」

「いやだ、オレは殺される、因果応報でオレは殺される」

うわごとのように繰り返しながら、男は強い催眠作用のために深い眠りに落ちていった。

そして夜明け前、男が目覚めると耳元で野太い声がした。

「さあて、いよいよ本番といくか」

\* 文芸同人誌「北斗」第572号（平成22年11月号）に掲載

\* 「妻は宇宙人」/ウェブリブログ <http://12393>

[912.at.webry.info/](http://912.at.webry.info/)

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6853u/>

---

児童虐待担当必殺仕事人

2011年10月9日08時11分発行